



FRENCH FASHION PROGRAM 2024



2024/2/10 Sat. ~ 2/25 Sun.



明治大学 商学部
特別テーマ海外研修科目

フレンチファッション・プログラム

パリ短期留学でのファッションビジネス授業

- ◇ 期間：2024年2月10日（土）～25（月）14泊16日
- ◇ パリのファッションビジネススクール《モダール インターナショナル学院》 集中講座
- ◇ ラグジュアリーブランドに特化したブランドマネジメント全般の講義
- ◇ 授業はビジュアル中心に英語で行われます
- ◇ ブランドビジネスの最先端で活躍中のプロフェッショナルが講師として授業を担当
- ◇ 座学と課外研修の組み合わせ + フリータイムを利用した自由研究

明治大学 商学部
特別テーマ海外研修科目

フレンチファッション・プログラム

- 【費用】 予価 **730,000円**～ 授業料・教材費・技術費
- 【講義内容】 次ページを参照
- 【期間】 2024年2月10日（土）～25（月）14泊16日
- 【参加資格】 高校卒業程度の英語力
ファッションやブランドへの興味・関心のある大学生
- 【研修場所】 フランス パリ市内 * 日本での事前学習3回・事後報告1回
- 【引率】 日本人講師が出発（日本）から同行

授業テーマ (パリ)

Day	AM	PM
月	ラグジュアリーブランドのMD	ブランドショップでのMD現状・検証
火	仏ファッション業界のSDGs	ブランドの工房、スタジオ見学
水	高級宝飾 (ハイジュエリー)	ハイジュエリー展覧会
木	ブランディング →	ブランド展覧会・ショップで検証
金	イヴ・サンローラン美術館	注目の次世代デザイナー
土	ヴェルサイユ宮殿 見学	自由行動
月	フランスの香水産業	香水ミュージアム 見学
火	ブランドのマーケティング	オートクチュール
水	仏の循環型ファッション 見学	自由行動
木	ブランド業界のNFT	パリ装飾美術館 モード関連展覧会
金	学生プレゼンテーション	自由行動

授業内容

《ラグジュアリーブランドのMD》

VMD（ビジュアルマーチャンダイジング）も含めた、基本的な理論学習。ブランド店内・ウインドウ装飾の実例を見学。

《仏ファッション業界のSDG's》

ブランドが実際に取り組んでいるSDG's 施策を本社やアトリエで見学。ブランドのCSRディレクターからのレクチャー。

《次世代デザイナー》

老舗ブランド復活をになう注目の新デザイナーや、セレブ御用達のブランドなど、パリのなかでも最も新しい情報をビジュアルや映像で解説。パリ、ミラノでの最新コレクション（ファッションウィーク）で注目された新人デザイナーの紹介。

《ハイジュエリー》

高級宝飾ブランドの歴史、PR戦略、作品についての講義と店舗または展覧会の見学

《ブランディング》

ラグジュアリーブランドの定義からはじまり、ブランドの構築方法、歴史をもつ老舗ブランドのブランディング解析、広告コ

ミュニケーション戦略などを実例をあげてレクチャー。

《オートクチュール》

ファッション界の頂点に位置する、パリのオートクチュールとは何か。歴史を学び本質を知ると同時に、将来に向けての展望、新人有力デザイナーの動向、老舗ブランドのリブランディングについて。

《フランスの香水産業》

パリの高級モードの歴史と切り離せないフレグランスについて基礎から学ぶ。科学的な理論と、人間の感性が融合するフレグランス産業についてのレクチャーと同時に、実際の香りを体験して、奥深さを知る。

《循環型ファッション》

フランスで成功している循環型ファッションを推進する団体や、ファッション業界にしかできない社会貢献活動を実行しているグループの拠点を訪ねて学習

*** 授業内容と時間割は変更になる可能性があります。**

MOD'ART INTERNATIONAL

モダール インターナショナル学院

- 2002年 パリで設立された高等専門学校 (Grande École)
- ラグジュアリーブランドに特化した教育
- 35%がフランス国外からの留学生
- ファッションビジネス科・デザイン科
- 現役でブランドビジネスに携わる講師陣
- 明治大学提携校 単位互換



<https://modart-paris.com/en/>

35, Quai André Citroën 75015 Paris
Tel. +33 1 58 39 36 60
Métro : Javel (ligne 10)



現地授業の一例





MERCHANDISING COURSE PLAN

I. The principles and challenges of merchandising :

- a. Definition and key concepts
- b. Merchandising Goals
- c. The Retail/Merchandising Formula
- d. Management of Dichotomies:
- e. International - Local
- f. Specific Merchandising – Omnichannel
- g. Business - communication tools - aesthetic
- h. Surprise effect – duration

II. Visual merchandising rules :

- a. Different types of reading
- b. Composition Techniques
- c. Staging rules
- d. Color Associations
- e. Workshop

III. Organizational merchandising

- a. Definition
- b. Goals
- c. The traffic circulation
- d. Zoning
- e. Workshop

MERCHANDISING COURSE PLAN

IV. E-merchandising

- a. Definition
- b. The techniques of e-merchandising
- c. KPI'S
- d. Reasons to buy online
- e. The limits
- f. The 8 rules of effective e-merchandising
- g. Study case
- h. Other media using e-merchandising
- i. Workshop

V. Innovative concepts:

- a. What's new for 2020
- b. Innovative concepts
- c. Luxury trends in 2025

VI. Conclusion & questions











Smartphone

MMRT

NATIONAL

BASKETBALL ASSOCIATION

LOUIS VUITTON



Musée YVES SAINT LAURENT Paris



EXPOSITION
GOLD
LES ORS
D'YVES SAINT LAURENT
14 OCTOBRE 2022
- 14 MAI 2023

Musée
YVES SAINT LAURENT
Paris













過年度参考

2023年2月 写真

<https://photos.app.goo.gl/ZepSDWYk5QfT2ass6>

2020年2月 写真

<https://photos.app.goo.gl/CNeWuYLotJawD7wVA>

2019年2月 写真

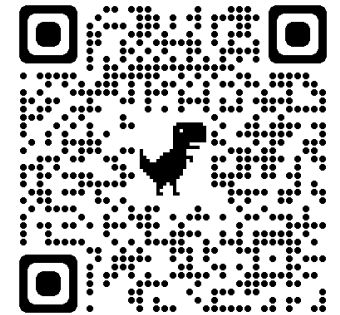
<https://photos.app.goo.gl/n5Tzqo6F5iJnNrTA6>

Mod'Art 紹介動画

<https://youtu.be/jJlzQDrU-X0>

2023年2月 商学部ノ現場 記事

<https://meiji-commerce.jp/abroad/post-277.html>



参加者の声 [1]

- 街を歩くだけでもパリの人は本当におしゃれでかっこよく、それぞれが自分のファッションを楽しんでいる姿に刺激を受けた。流行に流されない姿を見て、パリがなぜファッションの中心であるのか身に染みて分かった。
- 自由行動では、ルーブル美術館やエッフェル塔、セーヌ川などの観光名所に行くことができたし、日本で我慢していたスイーツとパンも飽きるくらいたくさん食べたし、本屋で雑誌を買うこと、夜のカフェに行くことなどパリでやりたかったことも叶えて夢のような17日間だった。
- 自由時間は比較的多く、ルームメイトと集まって行きたい場所を相談するのも楽しかった。有名な観光地を多く訪ねることもでき、朝食や昼食用にパン屋に行くのが楽しみのひとつだった。
- 語学留学ではなく、英語を手段としてファッションを学ぶプログラムに参加できてよかった。フランスは聞いていたとおり芸術の国で、地下鉄の駅で楽器を演奏している人がいたり、オペラ座の前では合唱をしている団体がいたり、スーパーマーケットにはストリートピアノがあって誰でもいつでも弾けるようになっていたり、美術館で彫刻の前に座ってデッサンしている人がいたり、本当に芸術が文化の根底にあって素敵だと思った。
- パリ市内のほとんどの場所で英語が通じ、円滑なコミュニケーションを取ることができた。またフランス人もとても気さくで、優しさや気遣いを感じる場面が多くあった。日本人であることを伝えると日本語を話してくれる人もいた。もし来年このプログラムに参加するにあたって語学面で不安を感じる人がいたとしても、ぜひ怖がらずに挑戦してみたい。
- さまざまな専門分野の授業を受けて、フランスのブランドが世界中の人々に愛される理由、長い歴史がありながら最先端を走り続ける理由が分かった。

参加者の声 [2]

- 私は1人で申し込んだので、友だちができるのか心配だった。しかし、いざプログラムが始まってみると、相部屋のルームメイトや近くの部屋のメンバーとすぐに仲良くなれて、最終的にはプログラムが終わった後も関わりたいと思えるような友人ができた。応募する段階で友だちと一緒になくても全然大丈夫！
- 出発前は英語の授業についていけるか心配していたが、現地の先生方は意思疎通しようとして頑張って話しかけてくれるのでなんとかなった。ただ、フランス語ブランド名を聞き取るのだけが難しかった。
- NFTの授業が楽しかった。実際の企業でのNFTを使ったマーケティング事例を引用して、成功した理由、失敗した理由を教えてもらったので理解が深まった。
- この研修に参加したくて、明治大学商学部を志望した。将来ラグジュアリーファッション業界で仕事をしたいと思っている自分にとっては最高のプログラムだった。また、留学は授業だけではなく、日常生活にも日本にはない学びや発見があり、刺激的だった。
- フランスに行きたいという理由で参加したが、結果としてファッション業界に興味を持つきっかけになった。2週間、モダールで勉強しながら街を歩く中で、ファッション業界のマーケティングが、難しくもやりがいがあることに気づいた。
- 午前中学んだことについて午後の課外学習で実践的に学びを深めるというこのスケジュールはとても充実していてよかった。
- 洋服のことだけでなく香水やジュエリー、そしてNFTなどのファッションの未来の可能性についてまで幅広く学ぶことができ、とても充実したプログラムだった。ファッションを学びたいという気持ちがあれば参加して損はない。

参加者の声 [3]

- 今回のプログラムで特に興味を持ったのは、ファッション・グリーン・ハブを訪問したこと。ここでは、数ある産業の中で2番目に環境に悪影響を与えているファッション産業が、いかに環境に良い商品を作れるかを研究している。担当の方が様々な製品を見せてくれた中でも面白かったのがデニムで作られたバッグだった。もともとのジーンズの縫い目が生かされているデザインで、「製品を生まれ変わらせる際に、新しい糸や布、部品を使わないことが目標だけれど、今は達成できていない。今もずっと研究している」というコメントに感心した。
- アニエスベーの本社研修がとても興味深く、アトリエ見学は刺激的だった。少人数で作業しているスタッフがカッコよく、独特な空気感が漂っていた。
- 日本にいても、スマホやインターネットで情報は得られるが、実際にファッションの本場パリに足を運ぶことでしか気づけないこと、吸収できないことがたくさんあると実感した。
- 学外での見学は座学の授業内容とリンクしていて、学んだ内容を考えながら視点を定めて活動できた。耳で聞いて、頭で理解するだけではなく、自分の五感をフル活用して実際のものを目にする体験は記憶にも残りやすく、楽しみながら学習することができてよかった。
- 2週間という短期ではあったが、得られる経験値や、なによりファッション・アートに関する知見は膨大なものだった。座学で知識を得たいという人よりは、本物に触れることに価値を感じる人には是非すすみたい。自分の五感を最大限に活用することできっと素晴らしい時間になると思う。

明治大学 商学部
特別テーマ海外研修科目

フレンチファッション・プログラム

2024年

2月10日（土） 日本
パリ到着 (-8h)

2月11日（日） 自由行動

2月12日（月）～23日（金） パリ授業（土日 モデル授業は休み）

2月24日（土） パリ出発

2月25日（日） 日本着

渡航・宿泊情報

旅行期間：2024年2月10日（土）から2月25日（月） 《14泊16日》

人数： 30～40名 ※最少催行人数20名

費用： 合計予価 **730,000円～**

上記費用(*1) に含まれるもの

- 授業料：パリ・モダールインターナショナル学院での2週間の授業料
（講師、教材、展覧会、課外学習費を含む）
- 渡航費： 航空運賃（エコミークラス）・パリ空港と宿泊ホテル間の送迎
- 宿泊費（2～3名1室利用）
- 往復および現地での引率教員同行・危機管理費（サポートデスク24h対応等）

費用(*2) 内訳

- 空港施設使用料
- 国際観光旅客税
- フランス入出国税
- 航空保険料
- 燃油特別付加運賃

前払い費用に含まれないもの

- 任意の海外旅行傷害保険代（明大生は別途案内）
- 通学交通費（地下鉄・バス等）・自由行動費用
- 食事代他、個人的な費用

（通学交通費参考）

交通系ICカード 1週間乗り放題パス "Pass Navigo Découverte"

$22.8\text{€} \times 2 \text{ weeks} = 45.6\text{€}$ (6,600円程度)